

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域文化のまちづくり事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O3	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	地域を活性化するまちづくりを推進する。
事業内容	各種団体との地域文化活動の実施、大しめ縄行事・デンガラ餅行事・おびしゃ行事などで各保存団体に協力している。近藤勇忌、利根運河まつり、小林一茶まつり、博物館協働展などを、流山歴史文化研究会、グリーンダイナミクス、博物館友の会などと協働している。博物館子ども教室など、課外授業的講座について、新たな協働先と事業を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	協働する団体が固定化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	協働した行事の数	5	5	6	件	→→
②	協働した団体の数	5	5	6	件	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

協働団体

- ・茶道親和会
- ・青少年育成会議
- ・流山歴史文化研究会
- ・グリーンダイナミクス
- ・博物館友の会
- ・昔のあそびを遊ぼう会

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	協働行事数・団体数の増加を図る	③取組の課題	協働事業についての方向性を検討する。
②今年度(H28)に実施した取組	行事数・団体数とも現状維持であった	④今後の改善計画	団体間の公平性を保ちつつ、協働団体との永続的な協力関係を構築する。